

NY マーケットレポート (2017 年 5 月 26 日)

NY 市場では、序盤に発表された 1-3 月期の米 GDP 改定値が速報値から上方修正されたことや、米耐久財受注が市場予想を上回る結果となったことを受けて、米経済の先行きを期待したドル買いが先行した。また、米国債利回りが上昇したこともドルの上昇を後押しし、ドルは大半の主要通貨に対して堅調な動きとなった。

一方、英国の総選挙の世論調査で、与党保守党のリードが縮小しているとの報道を受けて、政局の先行き不透明感が広がったとの見方から、英ポンドの下落が続いており、NY 市場でも主要通貨に対して軟調な動きとなった。

2017年 5月26日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	111.25	111.85	111.20
EUR/JPY	124.81	125.43	124.70
GBP/JPY	143.23	144.77	143.12
AUD/JPY	82.74	83.40	82.78
EUR/USD	1.1219	1.1224	1.1185

LONDON	高値	安値
USD/JPY	111.25	110.88
EUR/JPY	124.88	124.20
GBP/JPY	143.24	142.47
AUD/JPY	82.79	82.53
EUR/USD	1.1235	1.1191

* 東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	111.31	111.43	110.98
EUR/JPY	124.39	124.50	124.17
GBP/JPY	142.58	142.79	142.14
AUD/JPY	82.84	82.94	82.63
NZD/JPY	78.64	78.69	78.34
EUR/USD	1.1176	1.1200	1.1161
AUD/USD	0.7442	0.7462	0.7436

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21080.28	-2.67
S&P500	2415.82	+0.75
NASDAQ	6210.20	+4.94
日経225 (CME)	19705	-105
トロント総合	15416.93	+6.20
ボルサ指数	49688.27	+277.35
ボベスバ指数	64085.41	+858.63

5/29 経済指標スケジュール

15:00 【ノルウェー】1Q製造業賃金指数
16:30 【スウェーデン】4月貿易収支
17:00 【欧州】4月マネーサプライM3
20:30 【トルコ】5月住宅価格指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1268.10	+11.70
NY 原油	49.80	+0.90
CME コーン	374.25	+5.00
CBOT 大豆	926.50	-13.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.294%	1.294%
3年債	1.454%	1.454%
5年債	1.789%	1.791%
7年債	2.060%	2.056%
10年債	2.246%	2.254%
30年債	2.912%	2.919%

ドイツ10年債	0.331%	0.362%
英国 10年債	1.012%	1.037%

5/29 主要会議・講演・その他予定

- ・ 英国市場 (スプリング・バンク・ホリデー)
- ・ 米国市場 (メモリアルデー)
- ・ サンフランシスコ連銀総裁 講演

出所: SBILM

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1Q 米 GDP (前期比年率) 1.2% (予想 0.9%・前回 0.7%)

1Q 米個人消費 (前期比) 0.6% (予想 0.4%・前回 0.3%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

指標結果データ

＜米 GDP＞

	1Q 改定	1Q 速報	4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	1.2	0.7	2.1	3.5	1.4	0.8
個人消費	0.6	0.3	3.5	3.0	4.3	1.6
耐久消費財	-1.4	-2.5	11.4	11.6	9.8	-0.6
非耐久消費財	1.2	1.5	3.3	-0.5	5.7	2.1
サービス	0.8	0.4	2.4	2.7	3.0	1.9
設備投資	11.4	9.4	0.9	1.4	1.0	-3.4
住宅投資	13.8	13.7	9.6	-4.1	-7.7	7.8
輸出	5.8	5.8	-4.5	10.0	1.8	-0.7
輸入	3.8	4.1	9.0	2.2	0.2	-0.6
政府支出	-1.1	-1.7	0.2	0.8	-1.7	1.6
最終需要	2.2	1.6	1.1	3.0	2.6	1.2
国内最終需要	2.1	1.5	2.8	2.1	2.4	1.2

1-3 月期の米 GDP 改定値は、年率換算で前期比+1.2%となり、速報値から 0.5 ポイント上方修正された。GDP の約 7 割を占めるとされる個人消費や企業の設備投資、住宅投資が上方修正されたことも押し上げ要因となった。

①個人消費は+0.6%と速報値から 0.3 ポイントの上方修正。輸出は+5.8%と変わらず、輸入は+3.8%で 0.3 ポイント下方修正。企業の設備投資は+11.4%と 2.0 ポイント拡大。住宅投資は+13.8%で 0.1 ポイント拡大。

②政府支出は-1.1%と速報値の-1.7%から上方修正。連邦政府がマイナス幅を広げたが、州・地方政府はマイナス幅を大きく縮めた。

③FRB が物価安定の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年同期比+2.0%、変動の激しい食品とエネルギーを除くコア上昇率は+1.7%となり、コア上昇率は FRB 目標の 2.0%に届いていない。

21:30

＜ 経済指標の結果 ＞

4 月米耐久財受注（前月比） -0.7%（予想 -1.4%・前回 2.3%）

前回発表の 0.9%から 2.3%に修正

4 月米耐久財受注〔除輸送用機器〕 -0.4%（予想 0.4%・前回 0.8%）

前回発表の 0.0%から 0.8%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《米耐久財受注》

	4月	3月	2月	1月	12月	11月
耐久財新規受注	-0.7	2.3	1.4	0.3	0.3	4.6
輸送機器除く	-0.4	0.8	0.3	1.1	0.0	1.4
国防関連除く	-0.8	1.1	1.9	1.9	1.1	-6.5
資本財	-1.2	4.6	2.3	-0.3	1.6	-15.3
輸送機器	-1.2	5.3	3.6	-1.2	0.9	-14.8
総受注残	0.2	0.3	-0.2	-0.3	-0.4	-0.1
総在庫	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3
総出荷	-0.3	-0.1	0.4	-0.1	1.8	0.0

4月の米耐久財受注は、前月比-0.7%の2311億6800万ドルとなり、5ヵ月ぶりのマイナスとなった。自動車・同部品はプラスだったが、輸送機器が全体でマイナスとなったこと、また輸送機器を除いた受注でも昨年8月以来のマイナスに落ち込んだことが影響した。

①輸送機器が-1.2%となり、民間航空機が-9.2%、国防関連の航空機は+7.1%、自動車・同部品は+0.3%。輸送機器以外では、一次金属が-0.2%、一般機械が-0.8%、電算機・電子製品は+1.4%だった。

②資本財は-1.2%となり、資本財から国防関連を除いた受注は-1.9%。民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は、前月比横ばい。国防関連は+4.2%。

③耐久財全体の出荷高は-0.3%、受注残高は+0.2%、在庫高は+0.1%だった。

22:00

《 経済指標の結果 》

4月メキシコ失業率 3.46% (予想 3.34%・前回 3.19%)

4月メキシコ失業率(季調済) 3.57% (予想 3.50%・前回 3.54%)

前回発表の3.53%から3.54%



出所：Bloomberg

22 : 20

ホワイトハウスが日米首脳会談について声明を発表

- ・「トランプ米大統領、北朝鮮への圧力強化で協力すると安倍首相に話す」
- ・「トランプ大統領と安倍首相、北朝鮮への制裁強化への取り組みで合意」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

5月ミシガン大学消費者信頼感指数 97.1 (予想 97.5・前回 97.7)



出所：Bloomberg

経済指標データ

《ミシガン大学消費者信頼感指数》

	5月確報	5月速報	4月	3月	2月	1月	12月
消費者信頼感	97.1	97.7	97.0	96.9	96.3	98.5	98.2
景気現況指数	111.7	112.7	112.7	113.2	111.5	111.3	111.9
消費者期待指数	87.7	88.1	87.0	86.5	86.5	90.3	89.5
1年インフレ	2.6	2.6	2.5	2.5	2.7	2.6	2.2
5年インフレ	2.4	2.3	2.4	2.4	2.5	2.6	2.3

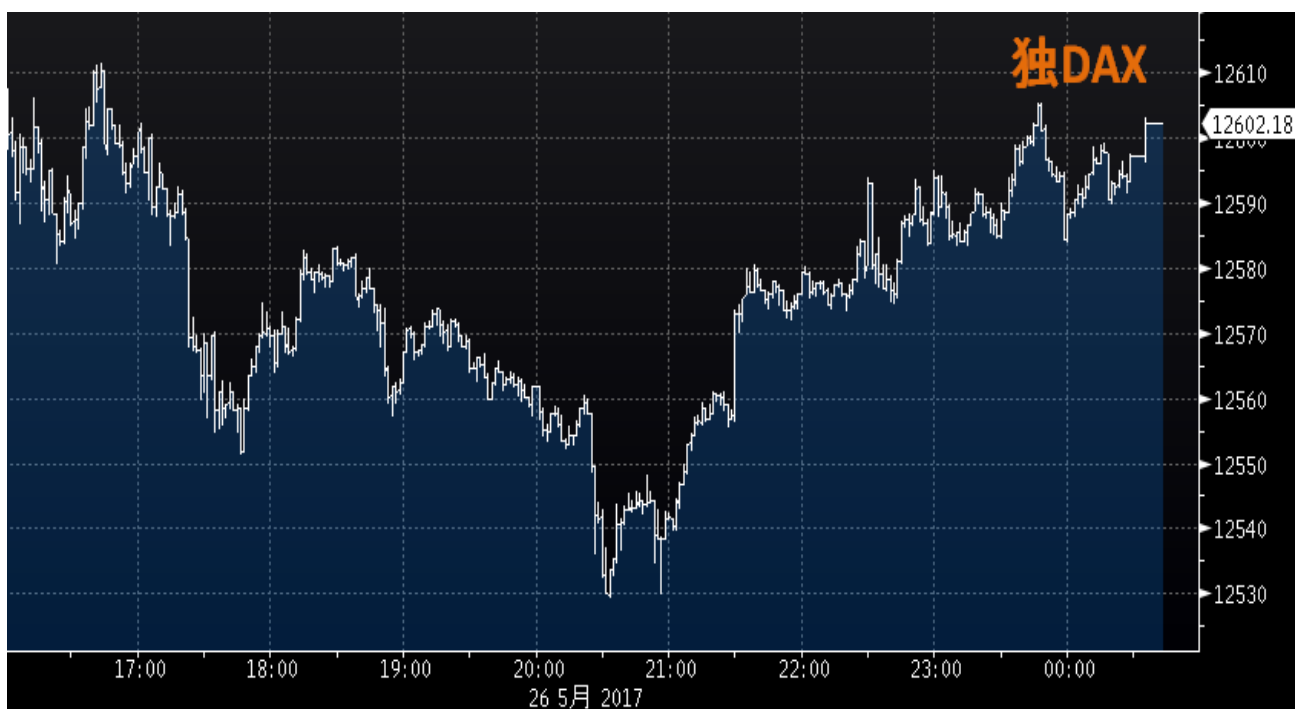
《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株が軟調に推移し、投資家がリスク回避姿勢を強めたことから、安全資産とされる米国債を逃避的に買う動きが先行した。また、FRBが金融緩和の解除を慎重に進めるとの見方も引き続き下支え要因となった。1-3月期のGDP改定値や耐久財受注が市場予想を上回ったことで、売りも出ており、上値を抑える要因となった。

午前の利回りは、30年債が2.90%（前日2.92%）、10年債が2.24%（2.25%）、7年債が2.05%（2.06%）、5年債が1.78%（1.79%）、3年債が1.45%（1.46%）、2年債が1.30%（1.30%）。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英FT100指数は、英総選挙の世論調査で与党保守党のリードが縮小し、英ポンド安が進んだことを好感し、輸出関連株の上昇が全体を押し上げた。一方、独DAX指数は銀行株が売られ小幅安となった。



出所：Bloomberg

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 11.70 ドル高の 1 オンス=1268.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、トランプ米政権の先行き不透明感が根強い上、米国株が軟調に推移したことで投資家のリスク回避志向が強まり、比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きが優勢となった。終値ベースでは、4 月下旬以来約 1 ヶ月ぶりの高値水準となった。



＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.90 ドル高の 1 バレル=49.80 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、前日に大幅下落した反動で、買い戻しが優勢となった。また、米石油サービス大手が発表した米国内の石油掘削装置稼働数の伸びが鈍化したことも支援材料となった。



《米株式市場》

米株式市場は、ダウ平均株価が6営業日続伸したことで、利益確定する動きが先行する一方、堅調な米経済指標の結果を受けて、米景気の順調な拡大を期待した買いもあり、序盤から売り買い交錯する動きとなった。その後は方向性に乏しく、終盤まで狭いレンジ内の動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が市場予想を上回る結果となったことを受けて、米経済の先行きを期待したドル買い優勢となった。また、原油価格が前日の大幅下落から反発したことや、株価が底固い動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。